

耳かけ型 EY リサウンド・エンヤ™

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 **TEL** 0120-921-310
一般のお客様電話番号 **TEL** 0120-921-102
FAX番号 **FAX** 0120-636-392
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
（土日祝日、年末年始は休み）
〒220-0012
神奈川県横浜西区みなとみらい3-6-3MMパークビル8F
ReSound GN
認定番号 227AFBZX00122000
KTG0656 EY Q2 1706C-17063K

はじめに

この度はリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

この取扱説明書では、各器種を以下のように呼びます。

この取扱説明書での呼び方	
リサウンド・エンヤ4	リサウンド・エンヤ3
EY462-DRW	EY362-DRW

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。**

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
-----------	-------------------------

【禁忌・禁止】

- 次の場合、補聴器を使用しないでください。
 - 耳を治療中の場合
 - 耳の中に痛みがある場合
 - 先天性または外傷による明らかな耳の変形がある場合
 - 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
 - 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
 - 急性または慢性的のめまいがある場合
 - 耳あか、または異物の集積が明らかな場合

2. 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳漏が生じたとき
- 耳の治療が必要になったとき
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思われるとき

目次

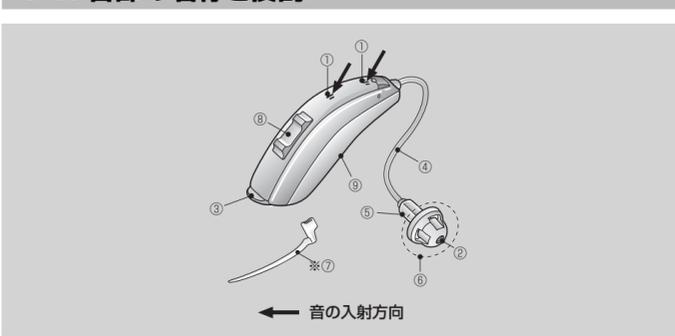
はじめに

安全上のご注意

- 製品概要
 - 1-1. 各部の名称と役割
 - 1-2. 付属品一覧
- 基本的な使い方
 - 2-1. 電源の入れ方／切り方
 - 2-2. 電池寿命お知らせ機能
 - 2-3. 音量調節について
 - 2-4. プログラム変更について
 - 2-5. 電話での使用
 - 2-6. スムーズホン使用について
 - 2-7. テレコイルについて
 - 2-8. 外部入力について
- 使用上の注意
- 電池使用上の注意
- 故障かな?と思ったら
- 性能表
- 音響諸特性
- アフターサービスについて

1 製品概要

1-1. 各部の名称と役割



- 音の入口**
音を集めるためのマイク
- 音の出口**
本体内部で増幅された音声を外耳道に導く
- 電池ケース**
電池を収納する
- レシーバチューブ**
増幅した音声をワイヤーを通して耳に送り届ける
- レシーバ**
音を出力する部分
- 耳せん**
- スポーツロック**
耳せんと補聴器が正しく耳に装着されるように固定
※ レシーバの種類によって形状が異なり、付かない場合もある
- マルチファンクションボタン**
プログラムの切り替え、音量調節、ワイヤレス通信の開始に使用
- 外部入力端子**
オーディオシューを接続する端子

1-2. 付属品一覧（携帯用ケースを除く）

※ □にチェックマークをして、ご使用前にご確認ください。
※ 両耳で購入された場合、「マークのついたものは2個(本)付属します。

① 電池 (1個)* PR41/312	② 耳せん (1個)*	③ レシーバチューブ (1本)*
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ※ご注文時に選択したものが付属します。	<input type="checkbox"/> ※ご注文時に選択したものが付属します。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 耳あかガード (1ケース)*	⑤ スポーツロック (1本)*	⑥ 耳あか掃除ブラシ (1本)
<input type="checkbox"/> ※レシーバの形状に合わせた種類が付属します。	<input type="checkbox"/> ※レシーバの種類によって形状が異なり、付かない場合もあります。	<input type="checkbox"/>
⑦ 乾燥ケース (1個)	⑧ クリーニングクロス (1枚)	⑨ 左右識別チップ (左右各1本)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

○ オプション(別売)

⑩ イヤモールド	⑪ オーディオシュー	⑫ オーディオコード	⑬ マグネット (スムーズホン用)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ 左右識別チップの付け方

補聴器が左耳用か右耳用か識別するため付属しています。

① 電池ケースのイラストの位置の空洞に左右識別チップをしっかりと奥まで差し込みます。	② 左右識別チップを横に倒して折り切ります。	完成

2 基本的な使い方

2-1. 電源の入れ方／切り方

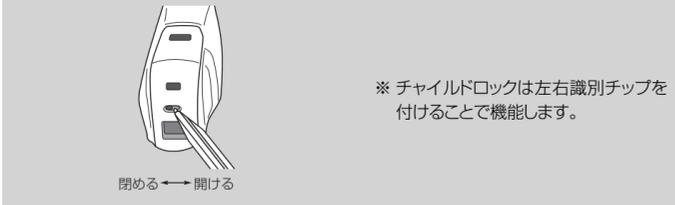
電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。



■ チャイルドロック

乳幼児が電池ケースを開けて電池を飲み込んでしまうことを防止する機能です。設定をすると、電源を切ることはできませんが電池を交換することはできません。

■ **設定・解除方法**



■ スマートスタート機能

補聴器を耳に装着する際に不快なハウリング(ピーピー音)を防ぐ為の機能です。この機能をオンにすると、電源を入れてもすぐには音が入らず、代わりにお知らせ音(ポーン、ポーン、ポーン…)が鳴ります。

販売店で設定可能	10秒/5秒/オフ
-----------------	------------------

2-2. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなると、電子音(ポポポポーン)が15分おきに繰り返し鳴り、補聴器の電源が自動的に切れます。電子音が鳴りましたら、新しい電池と交換してください。予備の電池を常に携帯することをおすすめします。

販売店で設定可能	オン/オフ
-----------------	--------------

■ ワイヤレスアクセサリ(オプション)使用時

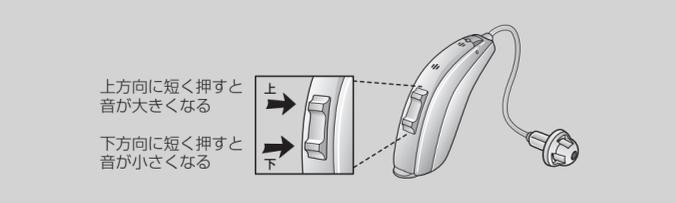
ワイヤレスアクセサリ使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなるより前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリが使えなくなります。新しい電池に交換すると、ワイヤレスアクセサリは再び使用できます。

電池残量	お知らせ音	補聴器	リモコンユナイトII	TVユナイトII、携帯ユナイトII、マルチマイク、マイクロマイク
(多)	—	○	○	○
(少)		○	○	×
(極少)		×	×	×

2-3. 音量調節について

■ 音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。



※ マルチファンクションボタンを押すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ポー」という音に変わります。
※ 電源を切ると、変更した音量は元に戻ります。
※ 初期設定を変更した場合の詳細は、お買い求めの販売店にご相談ください。

両耳連動機能使用時	販売店で設定可能	オン/オフ
片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。		

2-4. プログラム変更について

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。マルチファンクションボタンの上を約3秒間長押しするたびにプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ポーン	
プログラム2	ポーン、ポーン	
プログラム3	ポーン、ポーン、ポーン	
プログラム4	ポーン、ポーン、ポーン、ポーン	

電源投入時の設定	両耳連動機能使用時	販売店で設定可能	オン/オフ
●「プログラム1」	片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。		

■ フライトモード(ワイヤレス機能使用時)

搭乗中に電波の使用を禁じられている飛行機内や、無線送信および電波を発する機器の使用が禁止されている場所では、補聴器をフライトモードに設定してワイヤレス機能をオフにしてください。

■ **フライトモードの設定方法**

① 電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。	② もう一度電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。	③ もう一度電池ケースを閉じてください。「ポポーン、ポポーン、ポポーン…」というお知らせ音が鳴ると設定完了です。

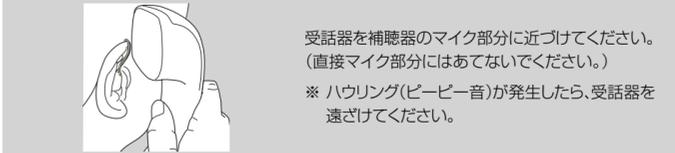
■ フライトモードの解除方法

① ポポーンというお知らせ音が鳴ってから、10秒以上待つてください。	② 電池ケースを一度開け、閉めてください。	③ 「ポーン」というお知らせ音が鳴り終わってから、電池ケースを閉めた状態で30秒待つと解除されます。

※ 「ポポーン」というお知らせ音が鳴る場合は、①からもう一度行ってください。

2-5. 電話での使用

本補聴器は、装着したままでも電話を使用することができます。



※ 本補聴器は、携帯電話からの電磁妨害に対する最も厳格な基準を守っています。しかし、すべての携帯電話と適合性があるわけではありません。もし、お持ちの携帯電話での聞き取りが悪かった場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

2-6. スムーズホンの使用について（オプション）

スムーズホン用のマグネットを取り付けた受話器を耳にあてると、お知らせ音が鳴り、自動的に補聴器が電話モードになります。受話器を耳から離すと、自動的に元のプログラムに戻ります。必要に応じて、受話器の最適な位置をお探しください。

両耳連動機能使用時	販売店で設定必要	専用プログラム
受話器を当てていない耳の音量が下がります。		

■ マグネットの取り付け方



▲ 警告

- スムーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳細はお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- 必ずリサウンドのスムーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-7. テレコイルについて

本補聴器には、テレコイルが内蔵されています。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使
用します。

また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受信器であれば、電話でお使いいただくことができます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

販売店で設定必要 **専用プログラム**

2-8. 外部入力について（オプション）

外部入力により、テレビ、ラジオなどからの音をより良い音質で直接聞くことが可能です。オーディオシュー、FM受信機一体型を補聴器に取り付け、ケーブルもしくはワイヤレスFMシステムで音源に接続すると自動的に外部入力に切り替わります。

販売店で設定必要 **専用プログラム**

■ オーディオシュー、FM受信機一体型の取り付け方

① オーディオシュー、FM受信機一体型の先端を外部入力端子にしっかりとあててください。

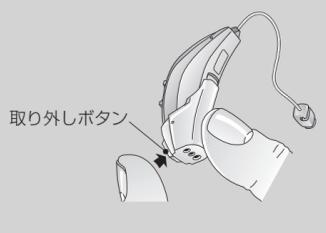


② カチッと音がするまで、オーディオシュー、FM受信機一体型を補聴器に接続してください。

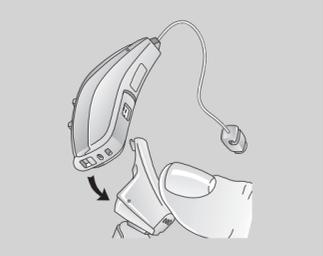


■ オーディオシュー、FM受信機一体型の取り外し方

① オーディオシュー、FM受信機一体型の表面の取り外しボタンを押してください。



② オーディオシュー、FM受信機一体型をそっと外してください。



※ 本装置に接続される追加の機器は、それぞれIECまたはISO規格に適合したものをご使用ください。さらに、すべての構成は、医用電気システムの要求事項に適合させてください。医用システムは医用電気システムの要求事項に準拠しており、医用電気機器へ追加の機器を接続する場合、必ず医用システムを構築する責任が生じます。疑わしい場合は、ご使用の前にお近くの販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- 1つのFMチャンネルで2つ以上の送信機を使わないでください。
- FM受信機一体型のお手入れに、水や液体を使用しないでください。
- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、FM送信機を使わないでください。
- FM電波は、他の受信機に受信される可能性があります。
- 外国でFMシステムを利用する際には、その国でそのチャンネルの使用が許可されているか事前にお買い求めの販売店にご確認ください。
- FM受信機一体型-FM送信機の修理は、認定されたサービスセンターでのみ可能です。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装着者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

⚠ 警告

- お子様が触れないようご注意ください。
- 飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いします。
- 飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。

⚠ 警告

- スムーズンホ用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。

⚠ 警告

- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。

- リサウンドの補聴器を補聴器用ワイヤレスアクセサリーと接続する際には、必ずリサウンドの補聴器用の機器（有料オプション品）をご使用ください。

- フィッティングを行う専門家の方への警告: この補聴器は132dB SPL以上の出力がある場合があります。フィッティングの際には充分注意してください。

⚠ 注意

- 衝撃熱を避けてください。補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。

- 補聴器はいつも清潔にしておいてください。就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。

- 適切な音量でご使用ください。必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。

- 補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装着してください。

- 補聴器を装着しても良く聞き取れない音もあります。

小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

- ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**耳せんがきちんと収まっていない場合や、抜けてかけて隙間ができた場合などには特にハウリングが起こりやすく、装着者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることとなります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

- 補聴器を装着して炎症が生じたら-**この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装着者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装着を中止し、医師へご相談ください。

- 低周波治療器・電磁(H)調理器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。**

- <使用済補聴器の処理方法>**「**使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律**」の「**使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン**」で**補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。**

⚠ 注意

- ご不用になった付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

- ワイヤレス機能がオンになっているとき、ワイヤレス機器と通信するため、デジタル符号化された低出力伝送が使われます。そのため、ワイヤレス機器を使用しているときに近くの電子機器に影響を与える可能性があります。万が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。

- ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起こった場合には、その原因となるものから遠ざけてください。

- サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。

⊘ 禁止

- 補聴器を水に濡らさないでください。補聴器を装着したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔なさらさないでください。

- 補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。

- 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。

- 補聴器を他人にお貸しにならないでください。補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装着しても音量や音質が合わず聞こえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。

- 病院内の検査機器にご注意ください。MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあてる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装着をおやめください。

性能表	表示単位	LP レシーバ	MP レシーバ	HP レシーバ	UP レシーバ	
規準周波数		1600Hz	1600Hz	1600Hz	1600Hz	
90dB最大出力音圧レベル	1600Hz	dB SPL±5dB SPL	115	120	125	137
最大音響利得	1600Hz	dB SPL以下	126	129	134	140
等価入力雑音レベル		dB SPL以下	27	27	28	25
全高調波ひずみ	500Hz	%以下	3.6	3.5	4.1	4.6
	800Hz	%以下	3.9	3.9	5.6	6.3
	1600Hz	%以下	3.9	4.1	4.0	3.1
電池の電流		mA以下	1.5	1.4	1.5	1.6
電池寿命(1.4V)	PR41/312	時間	125	135	130	120
誘導コイル入力の最大感度	1600Hz	dB SPL±6dB SPL	81	87	92	111
最大感度となる方向		垂直	垂直	垂直	垂直	
サウンドジェネレーター機能最大出力音圧レベル	500Hz	dB SPL±5dB SPL	77	81	79	81
	1000Hz	dB SPL±5dB SPL	82	84	82	86
	2000Hz	dB SPL±5dB SPL	89	90	90	94
	4000Hz	dB SPL±5dB SPL	91	89	86	90
	ピーク値	dB SPL以下	101	100	101	99
広帯域最大出力音圧レベル		dB SPL±5dB SPL	100	100	100	100
使用目的、効能又は効果			身体に装着して、聴聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。また、耳鳴りによる不快感の軽減に用いること。			
使用時の環境条件			温度:0〜40度、湿度:40度/93%以下、気圧:500〜1100hpa			
電撃保護			内部電源機器 B形装置			
輸送保管条件			温度:-20〜60度、湿度:90%RH以下(結露なきこと)、気圧:500〜1100hpa			

この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

4 電池使用上の注意

⚠ 警告

- ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池を誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、電池を錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- 電池内部の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、ただちに医師へご相談ください。

⚠ 注意

- ＋、－を逆向きに入れないでください。
- 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。

5 故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。	電池ケースを閉じる。
	電池が消耗している。	電池を新しい物に交換する。
	音の出口が詰まっている。	音の出口を掃除して詰まりをとる。
	耳せんとチューブが正しく装着されていない。	注意して装着し直す。
	レシーバやレシーバチューブが破損している。	販売店に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	耳あかガードが詰まっている。	販売店に相談する。
	装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
ハウリング(ピーピー音)がする	設定音量が小さい。	可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
	耳せんとチューブが正しく耳に入っていない。	注意して入れ直す。
音が不明瞭、音が歪む	補聴器の設定が合っていない。	販売店に相談する。
	耳せんの大きさが外耳道に対して合っていない。	販売店に相談する。
	装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
	プログラムの設定が合っていない。	販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	フライトモードに入っている。	フライトモードを解除する。
	電池が消耗している。	電池を新しい物に交換する。

※ 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

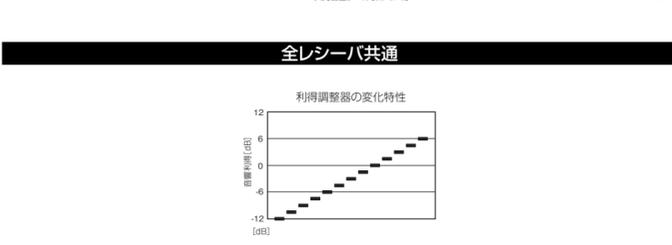
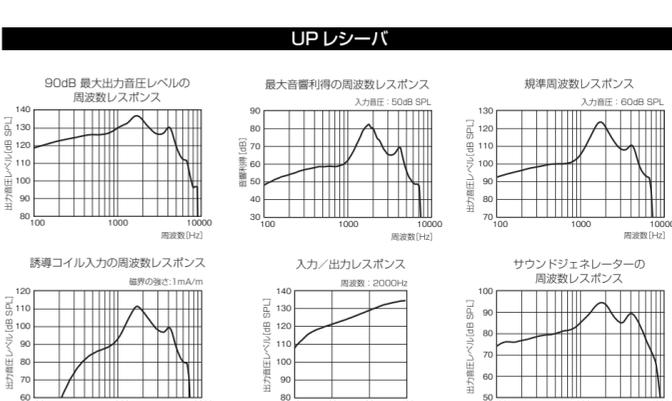
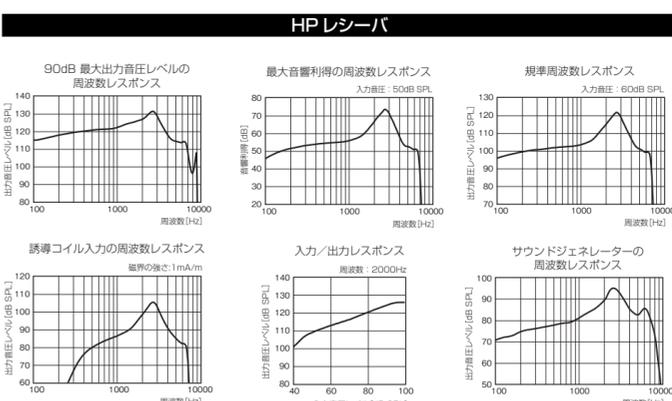
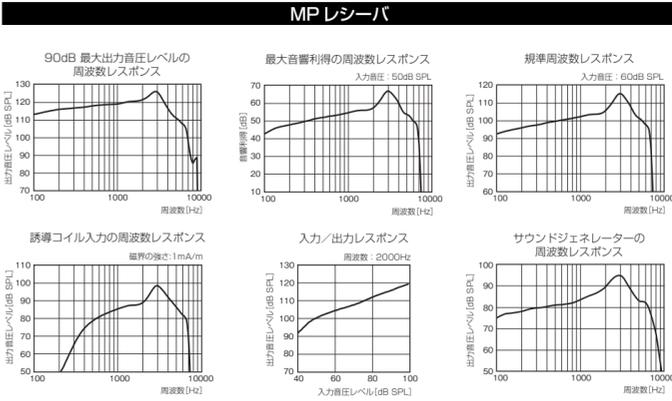
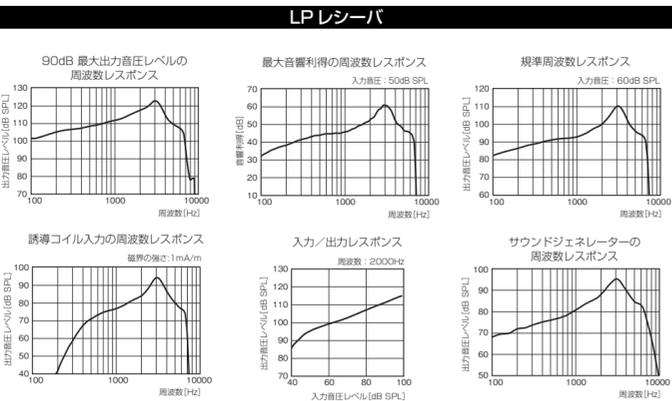
6 性能表 イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512：2000

性能表	表示単位	LP レシーバ	MP レシーバ	HP レシーバ	UP レシーバ	
規準周波数		1600Hz	1600Hz	1600Hz	1600Hz	
90dB最大出力音圧レベル	1600Hz	dB SPL±5dB SPL	115	120	125	137
最大音響利得	1600Hz	dB SPL以下	126	129	134	140
等価入力雑音レベル		dB SPL以下	27	27	28	25
全高調波ひずみ	500Hz	%以下	3.6	3.5	4.1	4.6
	800Hz	%以下	3.9	3.9	5.6	6.3
	1600Hz	%以下	3.9	4.1	4.0	3.1
電池の電流		mA以下	1.5	1.4	1.5	1.6
電池寿命(1.4V)	PR41/312	時間	125	135	130	120
誘導コイル入力の最大感度	1600Hz	dB SPL±6dB SPL	81	87	92	111
最大感度となる方向		垂直	垂直	垂直	垂直	
サウンドジェネレーター機能最大出力音圧レベル	500Hz	dB SPL±5dB SPL	77	81	79	81
	1000Hz	dB SPL±5dB SPL	82	84	82	86
	2000Hz	dB SPL±5dB SPL	89	90	90	94
	4000Hz	dB SPL±5dB SPL	91	89	86	90
	ピーク値	dB SPL以下	101	100	101	99
広帯域最大出力音圧レベル		dB SPL±5dB SPL	100	100	100	100
使用目的、効能又は効果			身体に装着して、聴聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。また、耳鳴りによる不快感の軽減に用いること。			
使用時の環境条件			温度:0〜40度、湿度:40度/93%以下、気圧:500〜1100hpa			
電撃保護			内部電源機器 B形装置			
輸送保管条件			温度:-20〜60度、湿度:90%RH以下(結露なきこと)、気圧:500〜1100hpa			

※ ワイヤレス機能使用時は電池寿命が短くなります。

※ 数値は参考値です。

7 音響諸特性 イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512：2000



8 アフターサービスについて

- 保証内容**
 - 2年間無償保証+ほっとシステム**

お買い上げ日から2年間無償修理いたします。その後、1回の修理につき3年目は20,000円、4年目は40,000円を上限とし、これを超える修理費用は請求いたしません。

 - ※ 自然故障の場合のみ適用します。修理費用は補聴器1台につきの料金です。
- 保証書(別添付)**

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。
- 修理について**
 - ・**保証期間中**

保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。

 - ・**保証期間後**

お買い求めの販売店にご相談ください。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

- 仕様について**

改良のため仕様は予告なく変更される場合があります。

外耳道内レシーバ 耳かけ型補聴器 簡単ガイド

取扱説明書

製造販売元

GNヒアリングジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3
MMパークビル8F

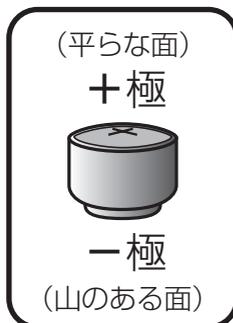
☎ 0120-921-310 (TEL)
0120-636-392 (FAX)

ReSound GN

KTG0672 02 1706A-170624K

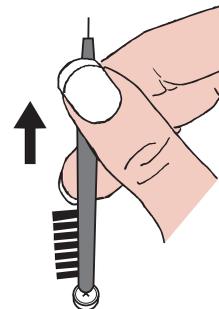
電池の入れ方・出し方

①



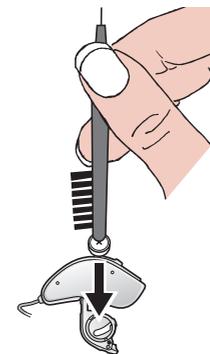
電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

②



耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてくださいます。

③

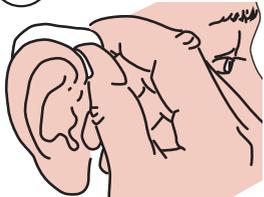


補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

補聴器の着け方・外し方

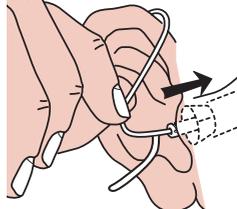
耳せんの場合

①



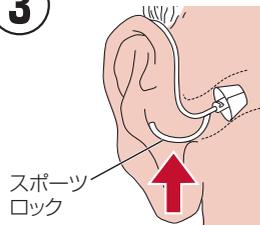
電源を入れ、補聴器を耳の上にかけます。

②



チューブの曲がった部分を持ち、耳せんを耳の中に、しっかり入れてください。

③

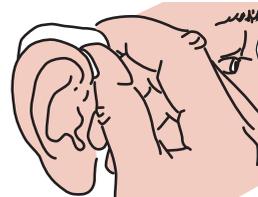


スポーツロックを耳たぶ上側のくぼんだところに這わせてください。

外し方 親指と人差し指でチューブをつまみ、真横に引き出してください。

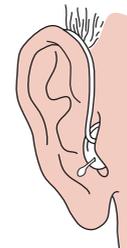
イヤモールドの場合

①



電源を入れ、補聴器を耳の上にかけます。

②



テグスをつまみ、イヤモールドを耳あなの中にしっかり入れてください。

外し方 テグスをつまみ、真横に引き出してください。

※ 強い力で引っ張ると断線する恐れがあるため、絶対にチューブをつままないようにしてください。

日ごろのお手入れ

① 毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。耳せん・イヤモールドの掃除は、耳あかが補聴器本体に入りこまないように音の出口を下にして行ってください。

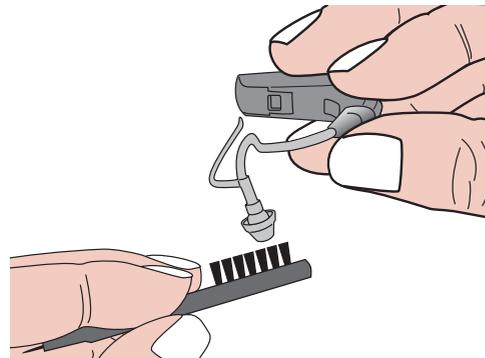


② 耳せんの交換

耳せんは3ヶ月に1度程度は交換が必要です。耳せんはお買い上げの販売店で交換されることをお勧めいたします。

③ チューブと耳せんまたはイヤモールドの掃除

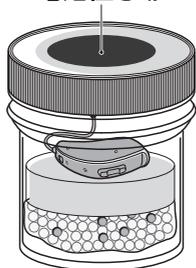
耳あか掃除ブラシややわらかい布を使って、汚れや耳あかを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



補聴器の保管について

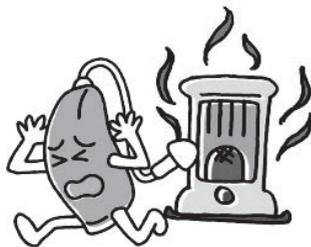
補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。

電池置き場



注意・禁止事項

● 熱を避ける



● 湿気を避ける



注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 乱暴な扱いは補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。